お手入れ方法

液温は、30℃を限度とし、弱い押し洗いにしてください。（洗たく機は使用できません。）

洗たく後、絞らないでください。

干し方は、日陰げの平干しにしてください。

塩素漂白剤は、使用しないでください。

ドライクリーニングは、しないでください。

アイロン掛けは、しないでください。

●濃紺のものは色落ちすることがありますから、他の物とは別に洗濯してください。
●摂氏 30 度以下の水で押し洗いし、形を整えて干してください。
●洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。バックルなどの破損につながる恐れがあります。
●漬け置きしないでください。

ＳＧマークが表示された製品は安心してお使いいただけます。

SG マークが表示された製品は安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、赤ちゃんが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。

但しご購入後 3 年以内です。

賠償についてのご注意

●認定した製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
●生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について

傷害を被った消費者（赤ちゃんなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から 60 日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けて下さい。

http://documebe.com
AT shop Mẹ và Bé
Chuyên bán, thanh lý địu em bé của nhật đã qua sử dụng giá siêu rẻ

製品安全協会　〒107-0062　東京都台東区蔵前2-4-2　ミサワホーム江戸通2階
TEL　03−5808−3303

〈アフターサービスについての連絡先〉

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター　TEL **0120−415−814**

受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050

Aprica

ZUCCO
HOMME／LUNA

横抱き・縦抱き・簡易抱っこ・おんぶ兼用

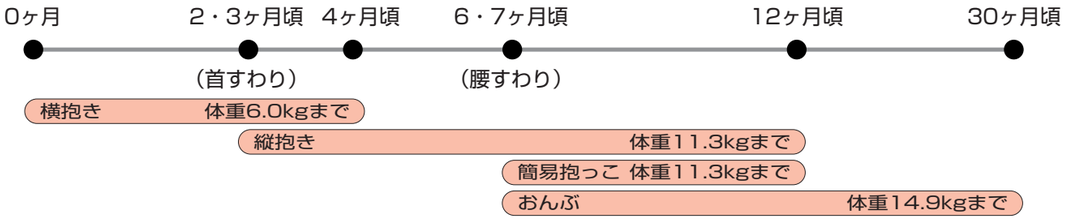
取扱説明書

ご使用になる前には、よくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書は必ず保管してください。

もくじ

使用期間 …… 1
使用上の注意（警告）……1〜2
（注意）…… 2
禁止事項　（禁止）…… 2
各部の名称 …… 3
各部の使用方法 …… 4
ベルトの長さ調節について …… 4
各部バックルのベルト長さ調節について … 4
フックベルトの長さ調節について …… 4
D型カンからフックを外すとき …… 4
ファスナーについて …… 4
ヘッドパットの使い方 …… 4
横抱き時の使用方法 …… 5
準備 …… 5
取り付け方 …… 5
取り外し方 …… 6
縦抱き・簡易抱っこ時の使用方法 …… 7
準備 …… 7
取り付け方 …… 7
取り外し方 …… 8
おんぶ時の使用方法 …… 9
準備 …… 9
取り付け方 …… 9
取り外し方 ……10

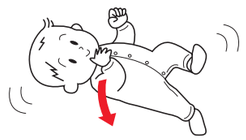
使用期間



使用上の注意

★お子様のために、よくお読みのうえ必ず守ってください。

⚠ 警　告（けいこく）　WARNING



●横抱き時は、寝返りができるお子様には使用しない。

●横抱き時は、体重6kg参考月齢４ヶ月以上のお子様に使用しない。

●横抱き時は、お子様を手で支えて使用する。

――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

●縦抱き、簡易抱っこ時は、体重11.3kg参考月齢12ヶ月以上のお子様に使用しない。

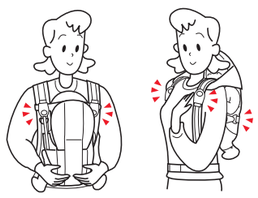
●縦抱き、簡易抱っこ時は、お子様を手で支えて使用する。

●縦抱き、簡易抱っこ・おんぶ時は、首の座らないお子様には使用しない。

――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

●おんぶ時は、体重14.9kg参考月齢30ヶ月以上のお子様に使用しない。

●おんぶ時は、腰がすわってから使用する。

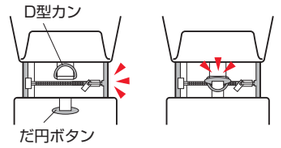


●ファスナー、バックル、フック、ホックが確実にとまっていることを確認する。

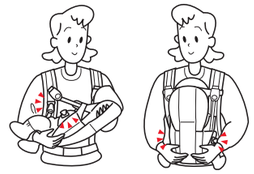
――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

http://documebe.com

⚠ 警　告（けいこく）　WARNING



●縦抱き、簡易抱っこ、おんぶ時は、お子様を乗せる前に保護者用ベストのファスナーと赤ちゃんホルダーの（股部分）ファスナーが確実に止め付けられ、D型カンにだ円ボタンが止められたことを確認する。



●必ず所定の位置のD型カンにフックをかけること。
――お子様の頭部が外にはみだしたり、臀部が所定置からずれ、お子様に負担がかかり危険になります。――

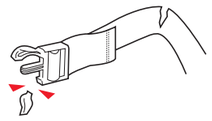
●使用中は走ったり、跳んだり、前屈み等無理な姿勢をしない。

――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

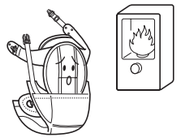
⚠ 注　意（ちゅうい）　CAUTION

哺乳後30分間位、連続２時間以上は使用しない。

お子様の体型にあわせて、フックベルトを確実に締め、またホック位置を決めること。



ベルトや生地の、ほつれ、破れ、きず等、またはバックルやフックが破損した場合は使用しない。
――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

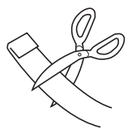


火の近くに放置しない。
――樹脂バックル等が変形し性能を維持できなくなります。――

禁止事項

★次のような使用は絶対にしないでください。

⃠ 禁　止（きんし）　PROHIBITION



ベルトの先端の返し縫い部を、ほどいたり、切り落とした後の使用。

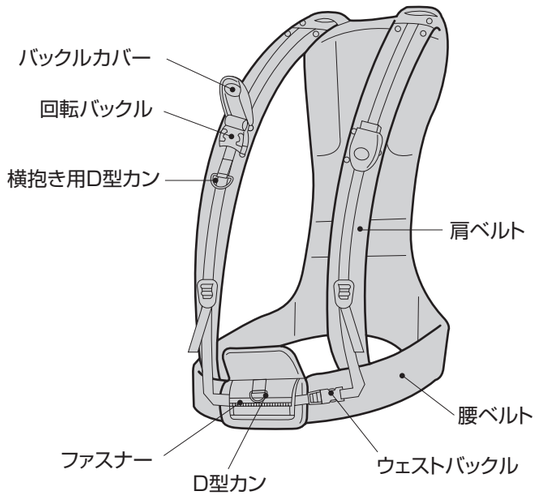
屋外に放置し、雨等にさらした後の使用。

その他、荷物などの運搬や、お子様を抱っこ、おんぶする以外の目的での使用。

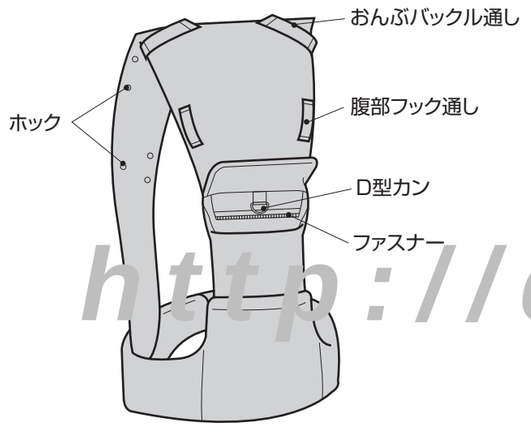
各部の名称

★この説明書では、以下の名称を使用しています。

●保護者用ベスト



〈前側〉



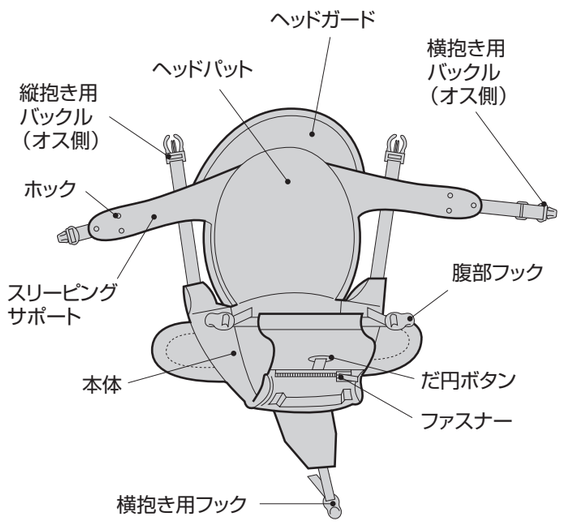
〈裏側〉

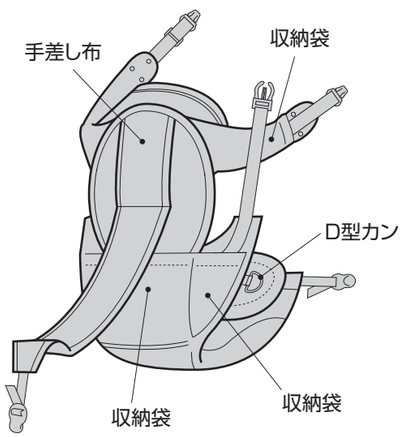
保護者用ベストのウエストサイズ

HOMME タイプ ……62～115cm
LUNA タイプ ……58～102cm

※使用者自身が傷みや不快を感じた場合には使用を中止してください。

●赤ちゃんホルダー

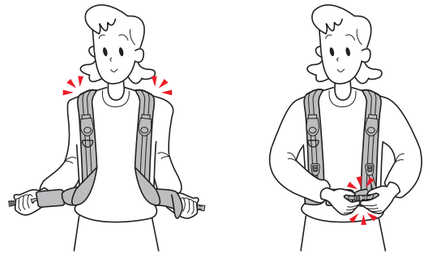




各部の使用方法

ベルトの長さ調節について

★肩ベルト・腰ベルトを保護者の体型にあわせて調整します。



⚠ 警告： お子様が落下する恐れがありますので、お子様と保護者が密着するように肩ベルトの長さを予めに調整してください。

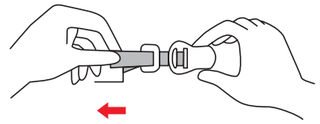
各部バックルのベルト長さ調節について

⚠ 注意： 縦抱き時は、お子様の頭頂の高さを、保護者の鎖骨から上の高さで、保護者の視界の妨げにならない範囲で調整してください。

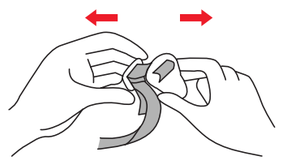
⚠ 注意： おんぶの時は、保護者の肩の高さに、お子様の頭頂～肩の高さくるように調整してください。

フックベルトの長さ調節について

●短くする
フックベルトの端を引きます。

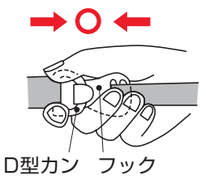


●長くする
バックルとベルトアジャスターを平行に立てて左右に引きます。

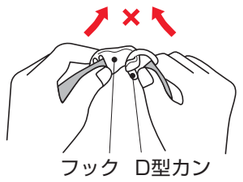


⚠ 注意： フックベルト調整は、大人の指二～三本程度入るのが適当です。

D型カンからフックを外すとき

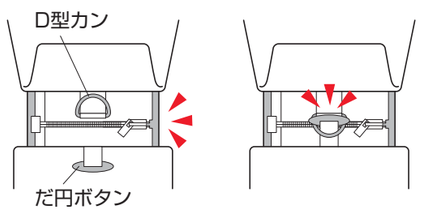


片手でフックとD型カンを握るようにして外します。



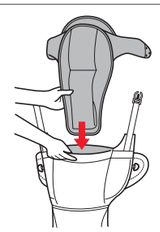
⚠ 注意： D型カンに対してフックをまっすぐに外します。斜めにすると外れにくいことがあります。

ファスナーについて



保護者用ベストのファスナーとお子様用股部分のファスナーを結合します。
ファスナーは確実に閉じていることを確認し、D型カンに、だ円ボタンを止めてください。

ヘッドパットの使い方



ヘッドパットを、本体の収納袋Ⅰの底部に届くまで深く差し込み、面ファスナー（マジックテープ）で固定します。

⚠ 注意： ヘッドパットの差し込みを底に届くようにする。差し込みが浅い場合は、お子様の頭頂を押さえ、負担がかかります。

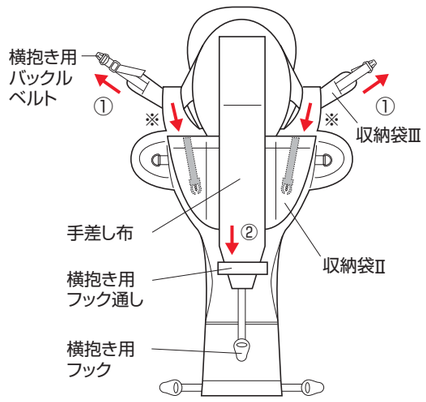
⚠ 注意： お子様に取り付ける前にヘッドパットの取り付けを済ませてください。

http://documebe.com

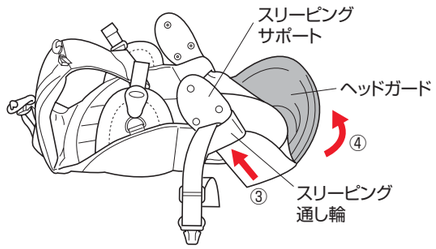
準　備

●赤ちゃんホルダー

※縦抱き用バックルベルトを収納袋Ⅱにたたんで収納する。



①横抱き用バックルベルトを収納袋Ⅲから出す。
②横抱き用フックを横抱き用フック通しに通します。



③スリーピングサポートをスリーピング通し輪に通します。
④ヘッドガードを立ち上げます。

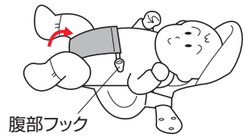
●保護者用ベスト

⑤ ⑥ ⑦

⑤保護者用ベストを背負います。
⑥肩ベルトを調整します。
⑦腰ベルトを調整します。
※ P4.「各部の使用方法」をご参照ください。

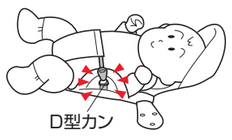
取り付け方

※お子様の頭の位置は、保護者左胸の前で、お子様の足は、保護者の右側方にきます。



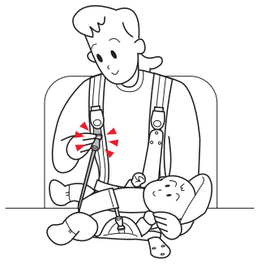
①安全な場所に赤ちゃんホルダーを広げ、中央に上を向くようにお子様を寝かせます。
お子様の股下にある生地をお子様のお腹の上に載せます。

⚠注意：お子様の頭頂部がヘッドガードに圧迫されない位置に寝かせてください。

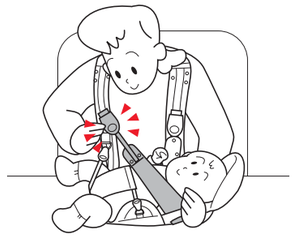


②お子様の左右の脇下にある「D 型カン」に「腹部フック」をかけます。
※左右の腹部フックベルトの長さを均等に調整してください。

⚠注意：フックベルトの長さは、お子様と子守帯との間に大人の指２～３本程度が入るよう調節してください。



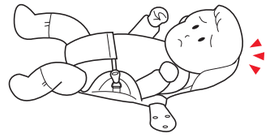
④お子様の股下にある「横抱き用フック」を、保護者用ベストの肩ベルト右側にある「横抱き用Ｄ型カン」にかけます。



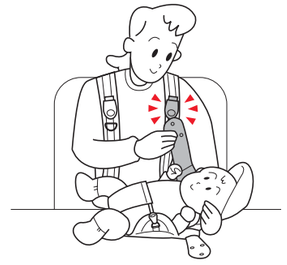
⑤お子様の頭部左側にある「横抱き用バックル」を、保護者用ベストの肩ベルト右側にある「回転バックル」にカチッと手応えがあるところまで差し込み、「バックルカバー」を下ろします。

⚠注意：保護者とお子様の体型に合わせて、ベルトの長さを調節してください。

http://documebe.com

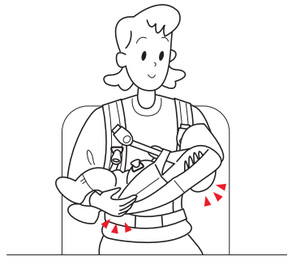


⚠警告：ヘッドガードから頭部が出るお子様は使用しないでください。
――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――



③お子様の頭部右側にある「横抱き用バックル」を、保護者用ベストの肩ベルト左側にある「回転バックル」にカチッと手応えがあるところまで差し込み、バックルカバーを下ろします。

⚠警告：お子様が落下する恐れがありますので、必ず安全な場所で、座って行ってください。



⑥「手差し布」に一方の手を差し込み、お子様を支え、もう一方の手で臀部を支えてください。

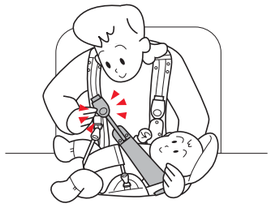
⑦使用者の身体に近い方のベルトを短めに調整すると、お子様を水平にバランスよく抱っこできます。

⚠警告：横抱き時は、必ず手差し布に手を差し込み、お子様の頭部を支えてください。

⚠警告：腹部フック、横抱き用バックル、横抱き用Ｄ型カンが確実に止まっていることを確認してください。
――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

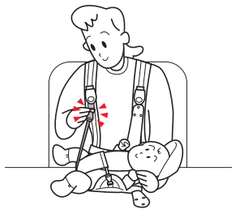
《参考》 お子様の頭の位置は、保護者左胸の前で、お子様の足は、保護者の右側方にきます。
お子様の向きは、上向きよりも保護者の方に傾くようにするとより安定します。

取り外し方



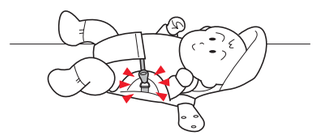
①安全な場所で保護者用ベストの肩ベルト右側にある回転バックルを外します。

⚠警告：お子様が落下する恐れがありますので、必ず安全な場所で、座って行ってください。



②保護者用ベストの肩ベルト右側にある横抱き用Ｄ型カンとフックを外します。
※ P4.「Ｄ型カンからフックを外すとき」をご参照ください。

③保護者用ベストの肩ベルト左側にある回転バックルを外します。



④お子様の左右の脇下にあるＤ型カンと腹部フックを外します。

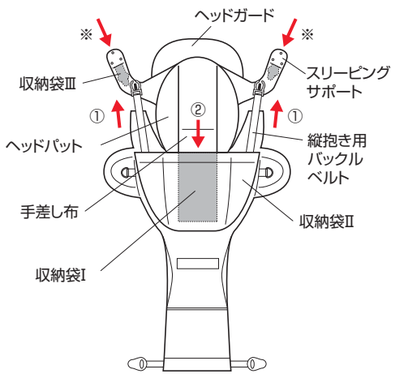
⑤赤ちゃんホルダーからお子様を抱き上げます。

準　備

縦抱き

●赤ちゃんホルダー

※横抱き用バックルベルトを収納袋Ⅲにたたんで収納する。



①縦抱き用バックルベルトを収納袋Ⅱから出す。
②手差し布を本体の収納袋Ⅰに折りたたんで収納する。

●保護者用ベスト

③

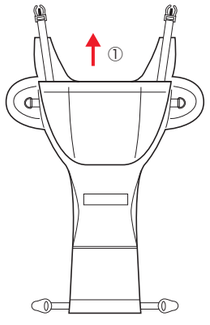
④

⑤

③保護者用ベストを背負います。
④肩ベルトを調整します。
⑤腰ベルトを調整します。
※ P4.「各部の使用方法」をご参照ください。

簡易抱っこ

●赤ちゃんホルダー

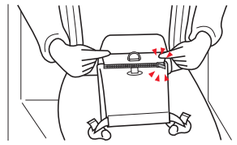


①縦抱き準備の後、ヘッドパットを取り外します。
※ P4.「各部の使用方法」をご参照ください。

取り付け方

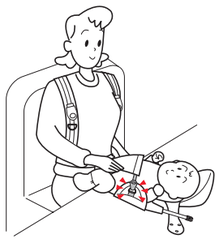
縦抱きの場合

①保護者用ベストの腰ベルトにあるファスナーとお子様用の股部分にあるファスナーをあわせます。



②ファスナーを止めます。

⚠警告：ファスナーは、必ず最後までしっかり止めてください。
――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――



⑤お子様の左右の脇下にある「D型カン」に「腹部フック」をかけます。
※左右の腹部フックベルトの長さを均等に調整してください。

⚠注意：腹部フックベルトの長さは、お子様と子守帯との間に大人の指２～３本程度が入るよう調節してください。

⑥保護者用ベストの左右の肩ベルトにある「回転バックル」に、お子様の左右の脇下にある「縦抱き用バックル」をカチッと手応えがあるところまで差し込み、「バックルカバー」を下ろします。

⚠注意：保護者とお子様の体型に合わせて、ベルトの長さを調節してください。

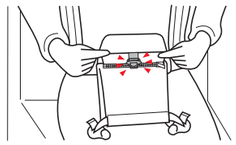
簡易抱っこの場合

①～③は縦抱きの場合と共通です。

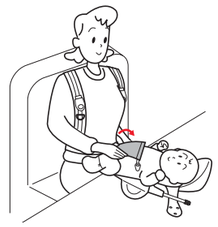
④保護者が座った状態で膝の上に赤ちゃんホルダーを広げ、お子様が前を向くように座らせ、股下にある生地をお腹の方へまわします。

⚠警告：腹部フック、縦抱き用バックルが確実に止まっていることを確認してください。
――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

⚠警告：お子様を乗せる前に、縦抱き取り付け方①～③を済ませること。
――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

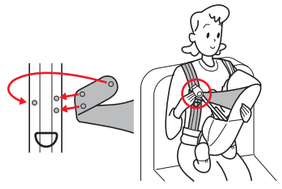


③「D型カン」に「だ円ボタン」を止めます。

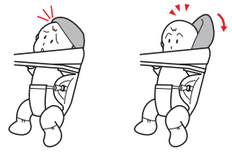


④安全な場所に赤ちゃんホルダーを広げ、中央に上を向くようにお子様を寝かせます。
お子様の股下にある生地をお子様のお腹の上に載せます。

⚠注意：お子様の頭頂部がヘッドガードに圧迫されない位置に寝かせてください。

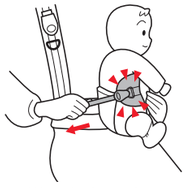


⑦スリーピングサポートのホックを、左右の肩ベルトのホックにカチッというまで止めます。



⚠注意：ヘッドガードがお子様の頭頂部にあたる時は、背後へ折り返してください。

⚠警告：ファスナー、腹部フック、縦抱き用バックル、ホックが確実に止まっていることを確認してください。
――お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。――

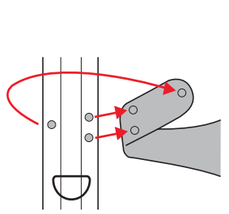


⑤お子様の左右の脇下にある「D型カン」に「腹部フック」をかけます。
※左右の腹部フックベルトの長さを均等に調整してください。

⚠注意：腹部フックベルトの長さは、お子様と子守帯との間に大人の指２～３本程度が入るよう調節してください。

⑥保護者用ベストの左右の肩ベルトにある「回転バックル」に、お子様の左右の脇下にある「縦抱き用バックル」をカチッと手応えがあるところまで差し込み、「バックルカバー」を下ろします。

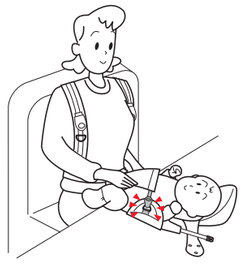
取り外し方



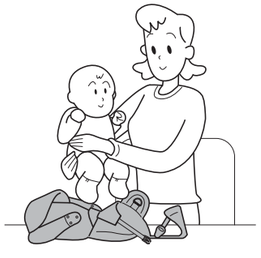
①安全な場所で、お子様をささえながらスリーピングサポート両横のホックを外します。

⚠警告：お子様が落下する恐れがありますので、必ず安全な場所で座って行ってください。

②保護者用ベストの左右の肩ベルトの回転バックルを外します。



③お子様を安全な場所に寝かせ、左右の脇下にあるD型カンと腹部フックを外します。
※ P4.「D型カンからフックを外すとき」をご参照ください。



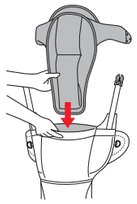
④赤ちゃんホルダーからお子様を抱き上げます。

http://documebe.com

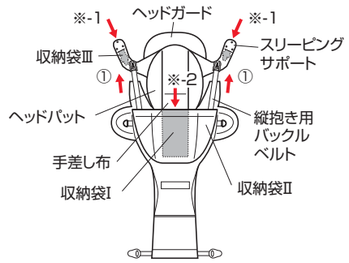
準　備

●赤ちゃんホルダー

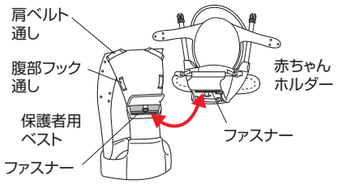
◎ヘッドパットを収納袋Ⅰの底部に届くように深く差し込み、面ファスナー（マジックテープ）で固定します。



※-1 横抱き用バックルベルトを収納袋Ⅲにたたんで収納する。
※-2 手差し布を本体の収納袋Ⅰに折りたたんで収納する。

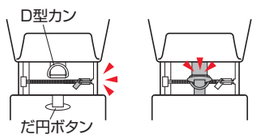


①縦抱き用バックルベルトを収納袋Ⅱから出す。

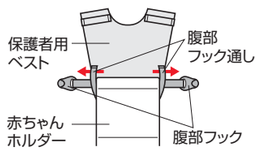


②保護者用ベストの背中部分にあるファスナーと赤ちゃんホルダーの股部分にあるファスナーを止めます。
※ P4.「各部の使用方法」をご参照ください。

⚠警告： ファスナーは、必ず最後までしっかり止めてください。
——お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。——



③Ｄ型カンと、だ円ボタンを止めます。



④保護者用ベルトの腹部フック通しに、赤ちゃんホルダーの腹部フックを通します。

おんぶ時の使用方法

取り付け方

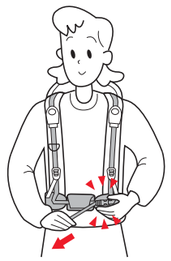
①安全な場所に赤ちゃんホルダーを広げ、その上に前を向くようにお子様を座らせます。

②お子様の左右の脇下にある「D 型カン」に「腹部フック」をかけます。
※左右の腹部フックベルトの長さを均等に調整してください。

⚠注意： フックベルトの長さは、お子様と子守帯との間に大人の指 2 ～ 3 本程度が入るよう調節してください。

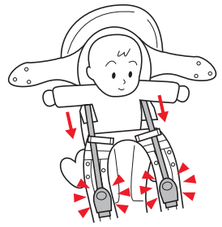
⑤お子様を背負います。

⚠注意： おんぶ時は必ず安全な場所で行ってください。他の人にお子様を支えてもらう方がより安全です。



⑥「ウェストバックル」をカチッと手応えがあるところまで差し込み、「腰ベルト」を調整します。

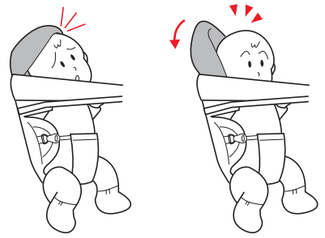
⚠警告： お子様を乗せる前に、準備①～④を済ませること。
——お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。——



③お子様の左右の脇下にある「縦抱き用バックル」を、保護者用ベストの「肩ベルト通し」に通してから、肩ベルトの「回転バックル」にカチッと手応えがあるところまで差し込み、「バックルカバー」を下ろします。

⚠注意： お子様の体型に合わせて、ベルトの長さを調節してください。

④スリーピングサポートのホックを、左右の肩ベルトの内側のホック（３ヶ所）にカチッというまで止めます。



⚠注意： ヘッドガードがお子様の頭頂部にあたる時は、背後へ折り返してください。
——お子様の頭部を圧迫する恐れがあります。——

⚠警告： ファスナー、腹部フック、縦抱き用バックル、ホック、ウエストバックルが確実に止まっていることを確認してください。
——お子様が転落等により怪我や危険になる恐れがあります。——

http://documebe.com

おんぶ時の使用方法

取り外し方

①安全な場所で保護者用ベストのウェストバックルを外します。

②肩からおろします。

⚠警告： お子様が落下する恐れがありますので、必ず安全な場所で行ってください。（他の人にお子様を支えてもらう方がより安全です。）

③安全な場所にお子様をおろし、左右の肩ベルトの内側のホックを外します。

④保護者用ベストの肩ベルトの回転バックルを外します。

⑤お子様の左右の脇下にあるＤ型カンと腹部フックを取り外します。

⑥赤ちゃんホルダーからお子様を抱き上げます。